

1日目:11月4日(土)

会場は両日とも京都大学文学部校舎

休憩室・書籍販売 第6講義室

10:00 開場

10:30～12:30 自由論題分科会1・2

●分科会1(文学) 第4講義室

司会:望月哲男(北海道大学)

・報告1:上村正之(北海道大学・院)「ベリンスキーのウクライナ観とゴーゴリ、シェフチェンコ評価の関係」

討論者:乗松亨平(東京大学)

・報告2:杉野ゆり(京都大学・院)「1829年のプーシキンのコーカサス旅行に関する作品について:『青銅の騎士』研究の視点から」

討論者:安達大輔(北海道大学)

・報告3:田村太(京都大学・院)「テロルの機構——ストレイピン期の政治暴力の変容とローブシン『蒼ざめた馬』」

討論者:下里俊行(上越教育大学)

●分科会2(Economy and Society of Russia in a Modern Era)第3講義室

Chair: Norio Horie (University of Toyama)

・Tamara Litvinenko (Institute of Geography, RAS Moscow/ Doshisha University, Kyoto) “Population Dynamics and Its Factors: Ethnicity and Regional Characteristics in the Sakha Republic (Yakutia)”

・Irina Korgun (Institute of Economics, RAS Moscow/ Hankuk University of Foreign Studies, Seoul, South Korea) “E-commerce in Russia”

・Kazuhiro Kumo (Hitotsubashi University) “Fertility in Russia: A Re-examination Using Microdata”

Discussant: Varvara Mukhina (Sophia University, Tokyo)

12:30～14:00 休憩 理事会 第5講義室

●14:00～16:30 共通論題「スラブ・ユーラシアの環境を考える」(1) 第3講義室

司会:古宮路子(東京大学)

・報告1:井上岳彦(北海道大学)「環境変動下におけるカルムイク文化生態史」

・報告2:中村唯史(京都大学)「〈ロシア的自然観〉の成立とその影響」

・報告3:小椋彩(非会員/北海道大学)「ポーランド小説と都市のエコロジー」

討論者:越野剛(慶應義塾大学)

16:40～17:40 総会 第3講義室

18:00～20:00 懇親会 レストラン・ラ・トゥール(京都大学時計台記念館内)

2日目:11月5日(日)

休憩室 第6講義室

9:00 開場

●9:30～12:00 共通論題「スラブ・ユーラシアの環境を考える」(2) 第3講義室

司会: 田畑伸一郎(北海道大学)

- ・報告1: 大石侑香(神戸大学)「西シベリア・ハンティの生業形態と社会構造」
 - ・報告2: 地田徹朗(非会員/名古屋外国語大学)「アラル海地域研究の視角: スケール、レジリエンス、コンヴィヴィアリティ」
 - ・報告3: 山脇大(野村アセットマネジメント/北海道大学)「ロシアにおける環境投資と情報開示に関する一考察」
- 討論者: 徳永昌弘(関西大学)

12:00～13:00 休憩

13:00～15:00 自由論題分科会3・4・5

●分科会3(東欧歴史) 第7講義室

司会: 吉岡潤(津田塾大学)

- ・報告1: 新井陽大(早稲田大学)「19世紀末ガリツィア東部におけるポーランド同化ユダヤ人の自己認識」
討論者: 野村真理(金沢大学)
- ・報告2: 小森宏美(早稲田大学)「ペレストロイカ期エストニアにおける民族/国家象徴をめぐる議論」
討論者: 林忠行(京都女子大学)
- ・報告3: 宇野真佑子(東京大学・院)「1990年代前半のクロアチアにおけるセルビア人の第二次世界大戦の記憶をめぐる政治」
討論者: 菅原祥(京都産業大学)

●分科会4(ロシア・ウクライナ危機は北極域にどのような変化をもたらしているか?) 第4講義室

司会: 道上真有(新潟大学)

- ・報告1: 大西富士夫(北海道大学)「加速する観測の海から地政学の海へ移行: ロシア・ウクライナ戦争の北極国際政治への影響」
 - ・報告2: 田畑伸一郎(北海道大学)「ロシアの北極域経済開発に対するウクライナ侵攻の影響」
 - ・報告3: 徳永昌弘(関西大学)「増幅する北極資源開発パラドクス: Arctic LNG 2 プロジェクトを中心に」
- 討論者: 安達祐子(上智大学)

●分科会5(日本と旧ソ連) 第3講義室

司会: 松本かおり(神戸国際大学)

- ・報告1: メスロピャン メリネ(東北大学)「20世紀初頭の日本とアルメニア難民」
討論者: 堀江典生(富山大学)
- ・報告2: 岩倉洸(龍谷大学)「アゼルバイジャンの多文化主義的ソフト・パワーと日本—多文化主義プロジェクトの事

例から」

討論者:宇山智彦(北海道大学)

・報告3:ルキアンセワ ポリナ(京都大学・院)「日露家族における家庭内暴力について:感情的、強制的、経済的な虐待を中心に」

討論者:河本和子(一橋大学)

15:15~17:15 自由論題分科会6・7

●分科会6(ウクライナとともに再編される宗教と政治) 第3講義室

司会:小森宏美(早稲田大学)

・報告1:神原ゆうこ(北九州市立大学)「ギリシア・カトリックがつなぐウクライナとスロヴァキア:支援と信仰をてがかりに」

・報告2:高橋沙奈美(九州大学)「ウクライナ避難民と正教会:牧会と社会支援を軸に」

・報告3:井上まどか(清泉女子大学)「従軍チャブレンの制度化をめぐる:2000年代以降のロシア連邦を中心に」

討論者:塩川伸明(東京大学), 松里公孝(東京大学)

●分科会7(ロシア政治・経済) 第4講義室

司会:黒岩幸子(京都外国語大学)

・報告1:鄭米芝(ジョン ミジ)(北海道大学・院)“Generations of Russia and Support for Putin: who is leaving his nest?”

討論者:大串敦(慶應義塾大学)

・報告2:飯田次郎(鳥取大学)「ロシアによる対外援助」

討論者:金野雄五(北星学園大学)

・報告3:齊藤久美子(和歌山大学)「ロシア・旧ソ連諸国における会計基準の国際化とナショナリズム」

討論者:藤原克美(大阪大学)